

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

夢・感動通信

地域が支える学校 コミュニティ・スクール

No.6



畑の先生(黒田原小学校)



平成26年度から始まった那須町コミュニティ・スクール事業も、今年度で6年目を迎えました。これまでに多くの皆さんから学校支援をいただき、充実した教育活動を行ってきました。その成果が認められ、昨年度、黒田原小学校支援委員会が、文部科学大臣賞を受賞しました。黒田原小学校はもちろんのこと、各校とも特色ある充実した地域学校協働活動を展開し、県内外から多くの注目を集めています。

その原動力となっているのが、地域教育コーディネーター。現在、17名の地域教育コーディネーターが、得意分野を生かしたネットワークで、地域と学校の世話役として活躍しています。そのお陰で多くの地域人材が、ボランティアとして教育活動に関わることができるようになりました。学習、運動、図書、安全、環境整備など、支援する分野はさまざま。今、学校は、先生と生徒だけが活動する場所ではありません。保護者や地域の皆さんも一緒に教育に関わり、「おらが地域のおらが学校」を創っていきましょう。

問合せ
習係
072-6923



▲登下校の見守り(那須中学校)



クラフト作家さんたちの作品がお出迎え



豊かな香りと深いコクが味わえる自家焙煎挽き立て珈琲



マンゴー、抹茶など4種類から選べるふわふわなかき氷



北欧の古民家風カフェはレトロなかき氷旗が目印



「北欧の片田舎にあるカフェをイメージした」という店内には、自ら描いたお店のロゴや絵画、会社員時代にフランス等で買集めていたアンティーク家具や小物がセンスよく

うれいすね。少しづつ変わりつつある黒田原駅前に北欧薫る新しい風が吹き始めました。こんなカフェが街にできて

フランス語で「くつろぐ」を意味する「DETENTE(テイントン)」。店名の由来のとおり、いつまでも長居したくなる落ち着いた温かい雰囲気のカフェです。オーナーの渡辺陽一さんは、「黒田原をオシャレな街にしたかったと4年前、夢だったカフェの开业を地元黒田原で実現しました。」

く溶け込んでいました。お薦めはスペイン産の生豆のみを使用した自家焙煎の珈琲。ランチやケーキ、夏には日光天然氷のかき氷も楽しめます。「休日は遠方からも北欧の雰囲気を楽しみに来られたり、時にはママさんたちの交流の場にもなるんです」と地元黒田原をこだわりの詰まったカフェで盛り上げたというオーナーの想いが伺えました。

那須のいろんなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっとひと息

6

黒田原駅前に北欧薫る新しい風



オーナーの渡辺陽一さん(左)と妻の美和子さん(右)